

THE NEW VALUE FRONTIER

証券コード 6971



第60期中間報告書

平成25年4月1日から平成25年9月30日まで

京セラ株式会社

京セラの経営哲学

社 是

敬天愛人

〈敬天愛人〉

常に公明正大謙虚な心で仕事にあたり

天を敬い 人を愛し 仕事を愛し 会社を愛し 国を愛する心

経営理念

全従業員の物心両面の幸福を追求すると同時に、
人類、社会の進歩発展に貢献すること。

経営思想

社会との共生。世界との共生。自然との共生。
共に生きる (LIVING TOGETHER) ことをすべての
企業活動の基本に置き、豊かな調和をめざす。

心をベースに経営する

京セラは、資金も信用も実績もない小さな町工場から出発しました。頼れるものは、なけなしの技術と信じあえる仲間だけでした。会社の発展のために一人ひとりが精一杯努力する、経営者も命をかけてみんなの信頼にこたえる、働く仲間のそのような心を信じ、私利私欲のためではない、社員みんなが本当にこの会社で働いてよかったと思う、すばらしい会社でありたいと考えてやってきたのが京セラの経営です。

人の心はうつろいやすく変わりやすいものといわれますが、また同時にこれほど強固なものもないのです。その強い心のつながりをベースにしてきた経営、ここに京セラの原点があります。

目次

| | |
|------------------|-------|
| 京セラの経営哲学 | |
| ごあいさつ | 1 |
| 当中間期の連結業績の概況 | 2-3 |
| 主要な事業内容 | 4-5 |
| 事業セグメント別の状況 | 6-9 |
| ファインセラミック部品関連事業 | 6 |
| 半導体部品関連事業 | 6 |
| ファインセラミック応用品関連事業 | 7 |
| 電子デバイス関連事業 | 7 |
| 通信機器関連事業 | 8 |
| 情報機器関連事業 | 8 |
| その他の事業 | 9 |
| 配当金及び株式分割実施のお知らせ | 9 |
| トピックス | 10-13 |
| 連結財務諸表 | 14-16 |
| 連結貸借対照表 | 14-15 |
| 連結損益計算書 | 16 |
| 連結キャッシュ・フローの状況 | 16 |
| 会社概要 | 17 |
| 株主メモ | |



名誉会長

稲盛和夫

ごあいさつ

平素は京セラグループに対しまして格別のご高配を賜り、厚く御礼申しあげます。

平成25年9月30日をもちまして終了しました第60期中間期（当中間期）の業績につきましてご報告いたしますので、ご高覧いただきますようお願い申しあげます。



当中間期においては、欧州経済は引き続き低調に推移したものの、国内及び米国経済は緩やかな回復が見られました。当中間期の事業環境は、世界的なスマートフォンの出荷台数の増加や国内での太陽電池市場の拡大に加え、欧米通貨に対する円安が進行する等、第59期中間期（前年中間期）に比べ総じて好転しました。当社においては、ソーラーエネルギー事業を中心に部品事業の売上が拡大するとともに、機器事業の売上也積極的な拡販策や新製品投入により増加しました。この結果、当中間期の売上高は前年中間期に比べ大きく増加し、半期ベースとしては過去最高の売上高となりました。利益については、増収効果及び各事業での原価低減の推進等による収益性の向上に加え、前年中間期には米国子会社において環境汚染浄化費用を計上していたこともあり、大幅な増益となりました。

下期も引き続き、情報通信市場や環境・エネルギー関連市場を中心に事業の成長機会を着実に捉えるとともに、京セラグループの総合力を活かした新製品開発の強化や市場シェアの拡大に努め、高成長・高収益企業を目指してまいります。

なお、当社は、当社株式の流動性の向上と投資家層の更なる拡大を図るため、本年10月1日に1株につき2株の割合で株式分割を実施し、投資単位当たりの金額を引き下げました。引き続き株主価値向上に向けた施策を検討するとともに、株主の皆様のご期待に応えるべく、業績の向上に努めてまいります。

株主の皆様におかれましては、京セラグループに対して引き続き一層のご支援、ご高配を賜りますようお願い申しあげます。



代表取締役会長

久芳 徹夫



代表取締役社長

山口 悟郎

当中間期の連結業績の概況

経済及び事業環境

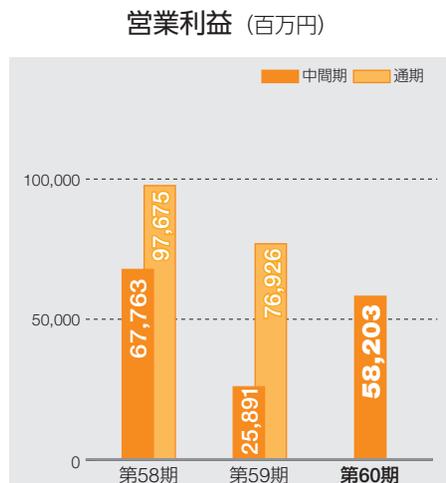
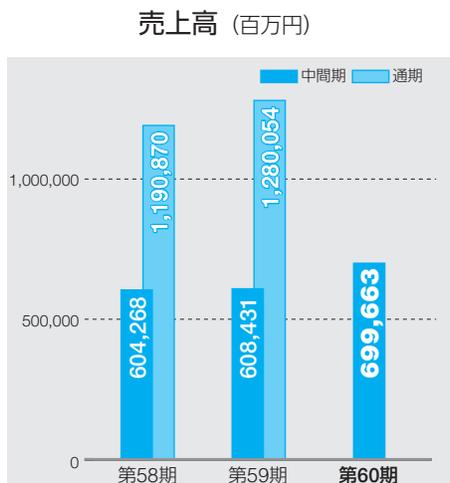
当中間期の国内経済は、政府の経済対策及び金融政策の効果が期待される中、輸出や個人消費の伸びに加え、公共投資を中心に投資活動が活発となる等、回復基調で推移しました。海外においては、米国経済は堅調な個人消費や設備投資の拡大により、緩やかに回復しました。一方、欧州経済は景気の下げ止まりが見られたものの、依然として低迷が継続しました。また、中国経済は高成長を維持しているものの、成長のペースは鈍化傾向で推移しました。

当社の主要市場であるデジタルコンシューマ機器市場においては、従来型の携帯電話端末やPC、薄型テレビの出荷台数は前年中間期に比べ減少しましたが、スマートフォンやタブレットPCの出荷台数は増加しました。また、国内の太陽電池市場は、公共・産業用の需要が著しい伸びを見せたことを主因に、前年中間期に比べ大幅に拡大しました。

連結業績

当中間期の連結売上高は、ソーラーエネルギー事業を中心としたファインセラミック応用品関連事業や通信機器関連事業並びに情報機器関連事業が増収となったことに加え、

◆ 連結業績の推移



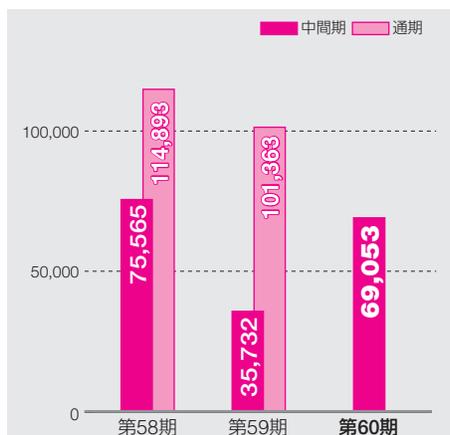
当社は、米国会計基準に準拠して連結財務諸表を作成しています。
また、本中間報告書の表示金額は百万円未満を四捨五入して記載しています。

円安の効果もあり、前年中間期の6,084億31百万円に比べ912億32百万円（15.0%）増加の6,996億63百万円となりました。

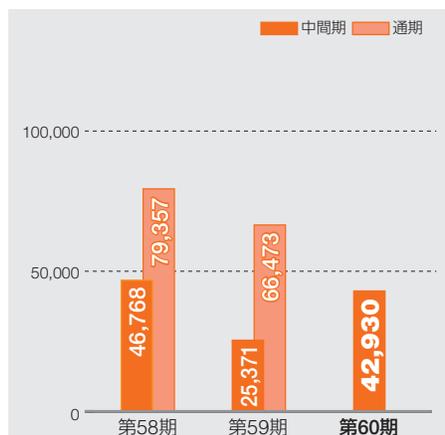
利益については、増収効果や生産性の向上により、ファインセラミック応用品関連事業をはじめ全ての部品事業において収益性の向上を図ることができました。また、前年中間期には米国連結子会社AVX Corporationにおける213億円の環境汚染浄化費用を計上していたこともあり、大幅な増益となりました。営業利益は、前年中間期の258億91百万円に比べ323億12百万円（124.8%）増加の582億3百万円となりました。また、税引前中間純利益は、前年中間期の357億32百万円に比べ333億21百万円（93.3%）増加の690億53百万円、当社株主に帰属する中間純利益は、前年中間期の253億71百万円に比べ175億59百万円（69.2%）増加の429億30百万円となりました。

なお、当中間期の平均為替レートは、対米ドルは前年中間期の79円に比べ20円（約25%）円安の99円、対ユーロは前年中間期の101円に比べ29円（約29%）円安の130円となりました。この為替レートの変動は、前年中間期に比べ売上高を約790億円、税引前中間純利益を約160億円、それぞれ押し上げる要因となりました。

税引前当期純利益（百万円）



当社株主に帰属する当期純利益（百万円）



主要な事業内容

ファインセラミック部品関連事業

産業機械、通信、コンピュータ、自動車等の様々な産業分野に幅広くセラミック部品を供給しています。



半導体製造装置用部品



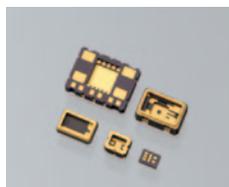
カメラモジュール

当中間期
売上高構成比

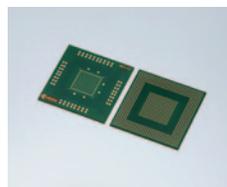


半導体部品関連事業

無機（セラミック）と有機の両材料を用いた電子部品やICを保護するパッケージ及び基板を供給しています。

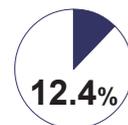


電子部品用セラミック
パッケージ



LSI用有機多層
パッケージ

当中間期
売上高構成比



ファインセラミック応用品関連事業

ソーラーエネルギー関連製品、切削工具、医科用・歯科用インプラントや宝飾品、セラミックナイフ等のファインセラミック応用商品を供給しています。

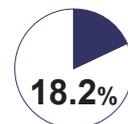


住宅用太陽光発電システム



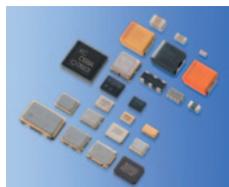
切削工具

当中間期
売上高構成比

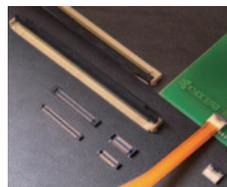


電子デバイス関連事業

通信機器や情報機器、デジタル家電、産業機器等、幅広い分野に様々な電子部品やデバイスを供給しています。

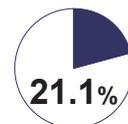


各種電子部品



コネクタ

当中間期
売上高構成比



通信機器関連事業

京セラ独自機能「スマートソニックレシーバー」を搭載したスマートフォンや携帯電話端末に加え、PHS端末や基地局を供給しています。

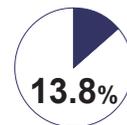


スマートフォン



携帯電話

当中間期
売上高構成比



情報機器関連事業

京セラ独自の長寿命でエコロジー、エコノミーを実現した「Ecosys」コンセプトのプリンター及び複合機に加え、お客様の様々なニーズに応えるアプリケーションを用意し、ビジネスの改善をサポートします。



Ecosys
A4 カラープリンター



TASKalfa
A3 カラー複合機

当中間期
売上高構成比

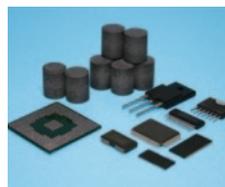


その他の事業

主に情報通信サービス事業や電気絶縁材料事業、成形品事業等を展開しています。

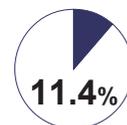


IT マネジメントセンター
(情報通信サービス事業)



半導体封止材料

当中間期
売上高構成比



注)「調整及び消去」(△3.1%)の項目があるため、4ページ及び5ページに記載の売上高構成比の合計は100%になりません。

更に詳しくお知りになりたい方は
当社ホームページをご覧ください

<http://www.kyocera.co.jp/>

事業セグメント別の状況

ファインセラミック部品関連事業

売上高：381億87百万円（前年中間期比 0.6%減）

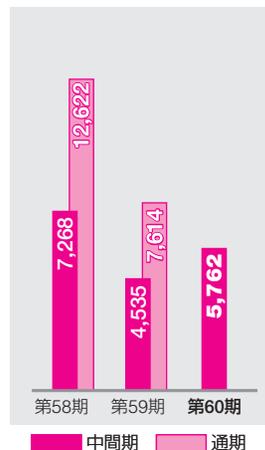
事業利益：57億62百万円（前年中間期比 27.1%増）

薄型テレビやPC等のデジタルコンシューマ機器市場向けの部品需要は減少したものの、車載市場向けの部品の販売が伸びたことにより、当事業セグメントの売上高は前年中間期に比べ、ほぼ横ばいとなりました。一方、事業利益は原価低減の効果等により、前年中間期に比べ増加しました。

売上高 (百万円)



事業利益 (百万円)



半導体部品関連事業

売上高：870億63百万円（前年中間期比 5.6%増）

事業利益：160億41百万円（前年中間期比 15.7%増）

スマートフォン向けにセラミックパッケージの売上が伸びたことに加え、有機パッケージの需要もハイエンドサーバー向けを中心に増加したことにより、当事業セグメントの売上高及び事業利益は前年中間期に比べ増加しました。

売上高 (百万円)



事業利益 (百万円)



ファインセラミック応用品関連事業

売上高：1,275億15百万円（前年中間期比 49.3%増）

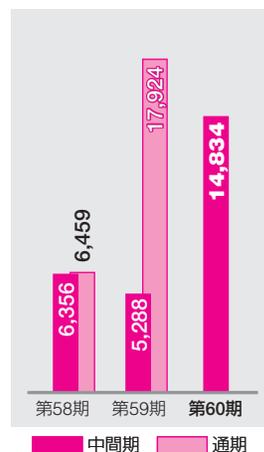
事業利益：148億34百万円（前年中間期比 180.5%増）

ソーラーエネルギー事業の売上高が国内の公共・産業用を中心に大幅に増加したことに加え、機械工具事業の売上高も自動車関連向けに増加したことにより、当事業セグメントの売上高は前年中間期に比べ大幅な増収となりました。事業利益は、ソーラーエネルギー事業の増収及び原価低減の効果により、前年中間期を大きく上回りました。

売上高 (百万円)



事業利益 (百万円)



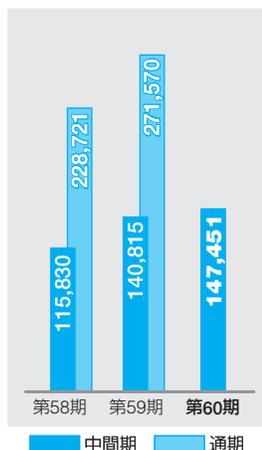
電子デバイス関連事業

売上高：1,474億51百万円（前年中間期比 4.7%増）

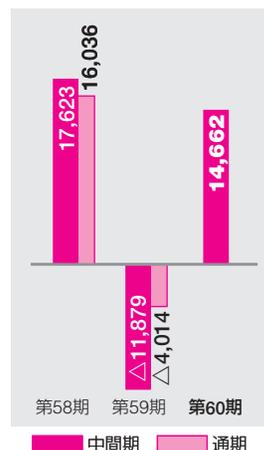
事業利益：146億62百万円（前年中間期比 265億41百万円増）

コンデンサやコネクタの売上の伸びや円安効果により、当事業セグメントの売上高は前年中間期に比べ増加しました。事業利益は、前年中間期にはAVX Corporationで環境汚染浄化に係る費用を計上していたことに加え、増収及び原価低減の効果等により、前年中間期に比べ大幅な増益となりました。

売上高 (百万円)



事業利益 (百万円)



事業セグメント別の状況

通信機器関連事業

売上高：965億57百万円（前年中間期比 14.5%増）

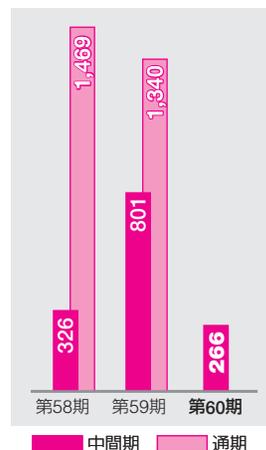
事業利益： 2億66百万円（前年中間期比 66.8%減）

積極的な新製品投入及び販売キャリアの拡大により、海外での携帯電話端末の売上が伸びたことを主因に、当事業セグメントの売上高は前年中間期に比べ増加しました。しかし、事業利益は国内市場での競争激化の影響により、前年中間期に比べ減少しました。

売上高 (百万円)



事業利益 (百万円)



情報機器関連事業

売上高：1,445億25百万円（前年中間期比 23.8%増）

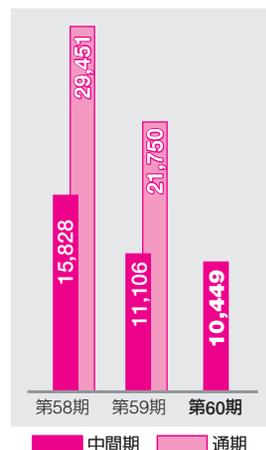
事業利益： 104億49百万円（前年中間期比 5.9%減）

新製品の投入及び積極的な市場開拓や拡販活動を進めたことにより、欧州及びアジアを中心に販売台数が伸びました。更に、円安の効果も加わり、当事業セグメントの売上高は前年中間期に比べ増加しました。一方、事業利益は販売促進費の増加等により、前年中間期に比べ減少しました。

売上高 (百万円)



事業利益 (百万円)



その他の事業

売上高：797億13百万円（前年中間期比 6.5%増）

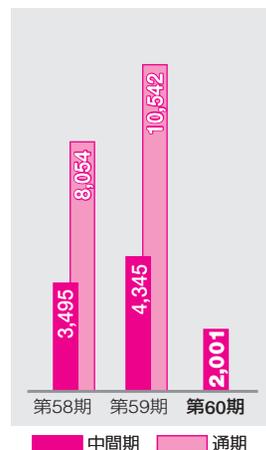
事業利益：20億1百万円（前年中間期比 53.9%減）

当事業セグメントの売上高は、京セラコミュニケーションシステム株の増収等により前年中間期に比べ増加しました。しかし、事業利益は新技術・新製品開発のための研究開発費の増加により、前年中間期を下回りました。

売上高 (百万円)



事業利益 (百万円)



配当金及び株式分割実施のお知らせ

【配当金】

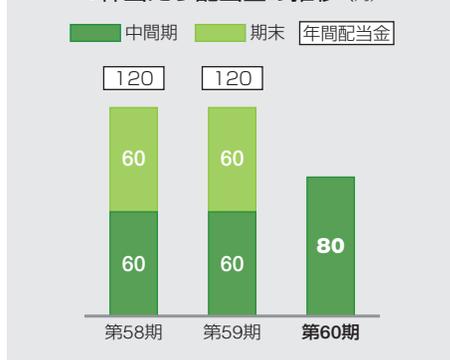
当社は株主の皆様への利益還元の更なる充実と投資家層の拡大を図るため、第60期より、連結配当性向をこれまでの「20%から25%程度の水準」から「30%以上の水準」で維持する方針に変更しました。

当中間期の配当金は、当中間期の業績及び上記配当方針を踏まえ、前年中間期に比べ20円増額の1株当たり80円とさせていただきます。

【株式分割の実施】

当社は、当社株式の流動性の向上と投資家層の更なる拡大を目的として、平成25年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を実施し、投資単位当たりの金額を引き下げました。

1株当たり配当金の推移 (円)



トピックス

新製品が続々登場 京セラ製通信端末のご紹介

au 向けスマートフォン DIGNO[®] M

軽くて持ちやすい

僅か3mmの極薄側面と背面カーブで
手にぴったりする持ち心地と最軽量*
(約134gを実現)



使いやすさを追求したデザイン

片手でも使いやすい、こだわりの操作性を実現

京セラ独自の機能

聞こえやすさにこだわった

「スマートソニックレシーバー[®]」搭載

※ 国内における2,600mAh以上の電池と5インチディスプレイを搭載した防水対応のスマートフォンにおいて(2013年10月1日現在、京セラ調べ)

ケータイのラインナップも充実

質感も機能も、ひとつ上の満足感

12月上旬
発売予定 **MARVERA** (マーベラ)



選べるカラーと「スマートソニックレシーバー[®]」

GRATINA (グラティーナ)



居場所の確認ができる安心機能

強く丈夫なGPS防犯ブザー付き端末

mamorino 3 (マモリーノ3)



大切な人もモノも。GPSで探せて安心

12月上旬
発売予定 **あんしんGPS[®]**



※本製品に通話機能はついていません。
※本製品のご利用にあたっては事前にau
スマートフォンおよび専用アプリでの
設定が必要です。

住宅用ソーラー発電システムトリプル保証(有償)スタート

京セラ独自の10年保証(無償)に加え、新たな15年保証の制度(有償)でさまざまな災害・故障から長期にわたる安心をサポート。



| | 現行の10年保証(無償) | トリプル保証(有償) |
|--------|--------------|----------------------|
| 機器保証* | お引渡し日より10年間 | お引渡し日より 15 年間 |
| 自然災害保証 | お引渡し日より10年間 | お引渡し日より 15 年間 |
| 出力保証 | お引渡し日より10年間 | お引渡し日より 20 年間 |

京セラはさまざまな災害・故障からお客様のソーラー発電システムを守ります。

*詳しくは京セラソーラーコーポレーション(電話075-604-3493)まで

※ 無償修理または良品または同等品との交換

京セラの製品でHOUSMILE®-Life (ハウスマイルライフ) を始めませんか

ハウスマイルライフとは、電気を「つくる」「ためる」そして「賢くつかう」こと。電気代を節約しながらエコに暮らす、新たなライフスタイル提案です。



太陽光発電で「つくる」



住宅用での
長期使用実績 NO.1*¹
世界最高水準の
耐久性能*²

国内初の住宅用太陽光発電システム発売開始から20周年

リチウムイオン蓄電システムで「ためる」



電気を蓄えて上手に
活かす
非常時の備えだけで
なく平常時も活躍

HEMS*³で「賢くつかう」



我が家のエネルギー状況を「見える化」

(左)「ハウスマイルナビ®」
コントローラ
(右)ソーラー発電モニター
「エコナビット®」

NEWS

2013年11月「鹿児島七ツ島メガソーラー発電所」完成・稼働開始

日本最大*⁴70MW、一般家庭約2万2千世帯分の電力を発電するメガソーラーが誕生。「世界最高水準の耐久性能*²」を持つ京セラ製太陽電池が採用されています(写真左)。



発電所敷地内に、見学施設「鹿児島七ツ島ソーラー科学館」(写真右)も併設され、地球環境問題や太陽光発電の歴史や仕組みをわかりやすく解説しています。

*見学ご希望の方は、電話099-262-2102へお問い合わせください。

1週間前までの事前予約が必要です。



*¹ 1993年に国内初の住宅用ソーラー発電システムを販売開始

*² ドイツのフ라운ホーファー研究機構が、世界の主要13製品に対して実施した耐PID試験による

*³ ホーム・エネルギー・マネジメント・システムの略

*⁴ 2013年11月4日現在稼働中のメガソーラーにおいて(京セラ調べ)

トピックス

京セラのセラミックナイフが累計出荷本数1,000万本を突破！

1984年に国内メーカーで初めてセラミックナイフを発売以来、幅広いお客様にお使いいただき、おかげさまで本年3月末に累計出荷本数が1,000万本を突破しました。

セラミックナイフのラインナップに新登場 Fine Premier Excellent〈ファインプレミア・エクセレント〉

最先端の技術と職人技で造られた、最高峰のセラミックナイフ

強度 20%アップ*

* 当社セラミックナイフ（白刃）比

匠の技が光る
木製ハンドル



様々なセラミックナイフを使って、毎日のお料理をもっと楽しく

マイクロギザ刃採用
サンドイッチや完熟トマト
など、やわらかくて
切りにくい食材専用



刃先拡大写真

ビビッドなカラー
バリエーションで、
キッチンを楽しく、
はなやかに演出



京セラ製LED電球の発売

今冬より
販売開始予定

京セラの独自技術をベースにLED電球を開発

京セラは、「柔らかく」、「あたたかみ」のある光を追求して独自開発した2つのタイプのLED電球を、今冬から販売開始いたします。省エネ・長寿命だけでなく、従来の青白い光とは異なる光源が創り出す、癒しの空間を暮らしの中に。

京セラホームページ内のウェブサイト
(今冬開設予定) よりご購入いただけます。
詳しくは、下記へお問い合わせください。
京セラ株式会社 新事業営業部 関西営業課
電話：075-604-3833



ろうそくのあかり
LED電球



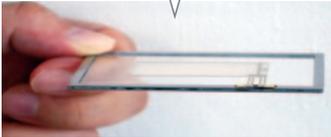
ルイスポールセン
PH5/PH50用LED電球

IT・エレクトロニクス総合展 CEATEC JAPAN 2013にて受賞

CEATEC AWARD 2013 経済産業大臣賞

世界最薄※¹ ピエゾフィルムスピーカー
(製品名: スマートソニック® サウンド)

薄さわずか1ミリ



ピエゾ素子をベースとした音響デバイスが、
世界で初めて※²薄型テレビに採用

※¹ 薄型テレビ搭載のスピーカーとして(2013年7月時点、京セラ調べ)
※² 圧電セラミックスをベースとして(同上)

INNOVATION AWARDS Mobile Technology 部門

米国スプリント社向け端末 Torque (トルク)

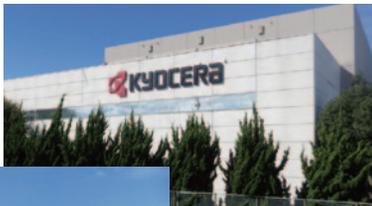
TORQUE



騒がしい場所でも相手の声が聞きやすい
京セラ独自の「スマートソニックレシーバー®」を
搭載した頑丈な端末

京セラサーキットソリューションズ株式会社の子会社化

京セラは総合電子部品・基板メーカーを目指し、本年 10 月 1 日にプリント配線板メーカーである「株式会社トッパン NEC サーキットソリューションズ」の全株式を取得しました。



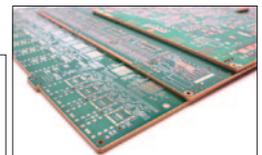
富山入善工場



新潟新発田工場

【京セラサーキットソリューションズ株式会社】

本 社：東京都港区
主な製造拠点：新潟、富山、フィリピン
従業員数：1,119名(2013年10月1日時点)



プリント配線板
(上)サーバー用
(左)携帯機器用

連結財務諸表

連結貸借対照表

(単位:百万円)

| 科目 | 前期 | 当中間期 | 増減金額 |
|------------------|------------------|------------------|----------------|
| | 平成25年3月31日現在 | 平成25年9月30日現在 | |
| (資産の部) | | | |
| 流動資産 | 1,268,383 | 1,311,310 | 42,927 |
| 現金及び現金等価物 | 305,454 | 316,943 | 11,489 |
| 一年以内償還予定負債証券 | 43,893 | 86,530 | 42,637 |
| その他短期投資 | 179,843 | 157,483 | △ 22,360 |
| 受取手形 | 27,061 | 24,880 | △ 2,181 |
| 売掛金 | 268,927 | 259,628 | △ 9,299 |
| 貸倒引当金及び返品損失引当金 | △ 4,705 | △ 4,791 | △ 86 |
| たな卸資産 | 296,450 | 321,380 | 24,930 |
| 前渡金 | 65,812 | 63,291 | △ 2,521 |
| 繰延税金資産 | 47,349 | 45,571 | △ 1,778 |
| その他流動資産 | 38,299 | 40,395 | 2,096 |
| 固定資産 | 1,014,470 | 1,167,737 | 153,267 |
| 投資及び長期貸付金 | 519,151 | 672,573 | 153,422 |
| 負債証券及び持分証券 | 506,490 | 659,020 | 152,530 |
| その他長期投資 | 12,661 | 13,553 | 892 |
| 有形固定資産 | 268,824 | 269,175 | 351 |
| 土地 | 61,808 | 62,691 | 883 |
| 建物 | 323,014 | 333,265 | 10,251 |
| 機械器具 | 788,692 | 809,353 | 20,661 |
| 建設仮勘定 | 13,546 | 9,186 | △ 4,360 |
| 減価償却累計額 | △ 918,236 | △ 945,320 | △ 27,084 |
| 営業権 | 103,425 | 107,298 | 3,873 |
| 無形固定資産 | 54,583 | 55,197 | 614 |
| その他資産 | 68,487 | 63,494 | △ 4,993 |
| 資産合計 | 2,282,853 | 2,479,047 | 196,194 |

負債証券及び持分証券

株価上昇により保有有価証券の時価評価額が増加しました。

(単位:百万円)

| 科目 | 前期 | 当中間期 | 増減金額 |
|------------------|------------------|------------------|----------------|
| | 平成25年3月31日現在 | 平成25年9月30日現在 | |
| (負債の部) | | | |
| 流動負債 | 326,630 | 337,274 | 10,644 |
| 短期債務 | 3,135 | 2,720 | △ 415 |
| 一年以内返済予定長期債務 | 9,817 | 10,482 | 665 |
| 支払手形及び買掛金 | 111,249 | 124,513 | 13,264 |
| 設備支払手形及び未払金 | 52,018 | 44,310 | △ 7,708 |
| 未払賃金及び賞与 | 52,420 | 54,934 | 2,514 |
| 未払法人税等 | 22,214 | 16,870 | △ 5,344 |
| 未払費用 | 39,135 | 52,871 | 13,736 |
| その他流動負債 | 36,642 | 30,574 | △ 6,068 |
| 固定負債 | 241,281 | 279,954 | 38,673 |
| 長期債務 | 20,855 | 21,830 | 975 |
| 未払退職給付及び年金費用 | 36,322 | 34,791 | △ 1,531 |
| 繰延税金負債 | 146,229 | 194,866 | 48,637 |
| その他固定負債 | 37,875 | 28,467 | △ 9,408 |
| 負債合計 | 567,911 | 617,228 | 49,317 |
| (純資産の部) | | | |
| 株主資本 | 1,646,157 | 1,788,714 | 142,557 |
| 資本金 | 115,703 | 115,703 | — |
| 資本剰余金 | 163,062 | 163,091 | 29 |
| 利益剰余金 | 1,368,512 | 1,400,436 | 31,924 |
| 累積その他の包括利益 | 50,138 | 160,779 | 110,641 |
| 自己株式 | △ 51,258 | △ 51,295 | △ 37 |
| 非支配持分 | 68,785 | 73,105 | 4,320 |
| 純資産合計 | 1,714,942 | 1,861,819 | 146,877 |
| 負債及び純資産合計 | 2,282,853 | 2,479,047 | 196,194 |

繰延税金負債

保有有価証券の時価評価額の増加に伴い、これに対応する繰延税金負債が増加しました。

累積その他の包括利益

株価上昇により保有有価証券の時価評価額が増加しました。

連結財務諸表

連結損益計算書

(単位:百万円)

| 科目 | 前年中間期 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日) | 当中間期 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日) | 増減率 (%) |
|-------------------|--------------------------------------|-------------------------------------|---------|
| 純売上高 | 608,431 | 699,663 | 15.0 |
| 売上原価 | 451,798 | 518,916 | 14.9 |
| 売上総利益 | 156,633 | 180,747 | 15.4 |
| 販売費及び一般管理費 | 130,742 | 122,544 | △ 6.3 |
| 営業利益 | 25,891 | 58,203 | 124.8 |
| その他収益・費用 (△) | | | |
| 受取利息・配当金 | 7,305 | 8,692 | 19.0 |
| 支払利息 | △ 861 | △ 1,022 | — |
| 為替換算差損益 | 2,350 | 1,768 | △ 24.8 |
| その他—純額 | 1,047 | 1,412 | 34.9 |
| その他収益・費用計 | 9,841 | 10,850 | 10.3 |
| 税引前中間純利益 | 35,732 | 69,053 | 93.3 |
| 法人税等 | 11,877 | 23,281 | 96.0 |
| 非支配持分帰属損益控除前中間純利益 | 23,855 | 45,772 | 91.9 |
| 非支配持分帰属損益 | 1,516 | △ 2,842 | — |
| 当社株主に帰属する中間純利益 | 25,371 | 42,930 | 69.2 |
| 1株当たり情報 | | | |
| 当社株主に帰属する中間純利益 | | | |
| — 基本的 | 69円15銭 | 117円02銭 | |
| — 希薄化後 | 69円15銭 | 117円02銭 | |
| 期中平均株式数 | | | |
| — 基本的 | 366,886千株 | 366,875千株 | |
| — 希薄化後 | 366,886千株 | 366,875千株 | |

販売費及び一般管理費

前年中間期には、米国子会社AVX Corporationが環境汚染浄化費用を計上していたことを主因に減少しました。

(注) 当社は、平成25年10月1日に普通株式1株を2株に分割する株式分割を実施したことにより、「1株当たり情報」については、米国において一般に認められた会計原則における1株当たり利益に係る基準に準拠し、当該株式分割を前期の期首(平成24年4月1日)に実施したものと仮定した情報を記載しています。

連結キャッシュ・フローの状況

(単位:百万円)

| 科目 | 前年中間期 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日) | 当中間期 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日) |
|--------------------|--------------------------------------|-------------------------------------|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 60,026 | 74,465 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △ 52,829 | △ 53,767 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △ 12,279 | △ 14,369 |
| 現金及び現金等価物に係る換算差額 | △ 6,689 | 5,160 |
| 現金及び現金等価物の増加(△減少)額 | △ 11,771 | 11,489 |
| 現金及び現金等価物の期首残高 | 273,288 | 305,454 |
| 現金及び現金等価物の期末残高 | 261,517 | 316,943 |

会社概要 (平成25年9月30日現在)

- 社 名 京セラ株式会社
- 英 文 社 名 KYOCERA Corporation
- 本 社 所 在 地 京都市伏見区竹田鳥羽殿町6番地
- 設 立 昭和34年(1959年)4月1日
- 従 業 員 数 連結70,466名 単独14,054名
- 発行済株式総数 191,309,290株
(うち自己株式数 7,873,015株)

株式分割のお知らせ

平成25年9月30日を基準日として、普通株式を1株につき2株の割合をもって分割しました。

平成25年10月1日からは、

発行済株式総数 382,618,580株

(うち自己株式数 15,746,030株)

となっております。

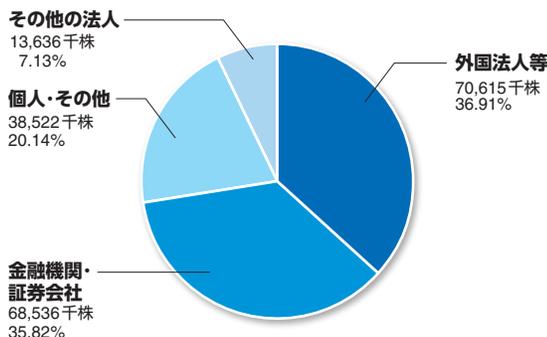
- 株 主 数 56,307名
- 大 株 主 (上位10名)

| 株主名 | 持株数(千株) | 持株比率(%) |
|--|---------|---------|
| 日本スタートラスト信託銀行株式会社(信託口) | 13,988 | 7.63 |
| 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口) | 10,805 | 5.89 |
| 株式会社京都銀行 | 7,218 | 3.93 |
| STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY | 5,788 | 3.16 |
| 稲盛 和夫 | 5,606 | 3.06 |
| 公益財団法人稲盛財団 | 4,680 | 2.55 |
| ケイアイ興産株式会社 | 3,550 | 1.94 |
| THE BANK OF NEW YORK, TREATY JASDEC ACCOUNT | 2,786 | 1.52 |
| THE CHASE MANHATTAN BANK, N.A. LONDON SECS LENDING OMNIBUS ACCOUNT | 2,650 | 1.44 |
| 京セラ自社株投資会 | 2,604 | 1.42 |

注1) 持株数は千株未満を四捨五入して表示しています。

注2) 持株比率は自己株式を控除して計算しています。

所有者別株式分布状況



取締役及び監査役

| | | | |
|----------|---------|-----------|------------|
| 代表取締役会長 | 久 芳 徹 夫 | 取 締 役 | ジョン・ギバートソン |
| 代表取締役副会長 | 前 田 辰 巳 | 取 締 役 | ジョン・リグビー |
| 代表取締役社長 | 山 口 悟 郎 | 取 締 役 | 小野寺 正 |
| 専務取締役 | 駒 口 克 己 | 常 勤 監 査 役 | 鹿 野 好 弘 |
| 専務取締役 | 山 本 康 行 | 常 勤 監 査 役 | 前 田 耕 司 |
| 取 締 役 | 石 井 健 健 | 監 査 役 | 西 枝 攻 攻 |
| 取 締 役 | 大 田 嘉 仁 | 監 査 役 | 安 田 喜 憲 |
| 取 締 役 | 青 木 昭 一 | 監 査 役 | 稲 田 二 千 武 |
| 取 締 役 | 触 浩 浩 | 監 査 役 | 古 家 野 泰 也 |
| 取 締 役 | 伊 達 洋 司 | | |

執行役員

| | | | |
|--------|---------|---------|------------|
| 執行役員社長 | 山 口 悟 郎 | 執 行 役 員 | 後 藤 雄 次 |
| 執行役員専務 | 駒 口 克 己 | 執 行 役 員 | 鷹 尾 仁 志 |
| 執行役員専務 | 山 本 康 行 | 執 行 役 員 | 山 下 洋 一 |
| 執行役員常務 | 石 井 健 健 | 執 行 役 員 | 梅 村 和 正 |
| 執行役員常務 | 大 田 嘉 仁 | 執 行 役 員 | 小 山 繁 繁 |
| 執行役員常務 | 青 木 昭 一 | 執 行 役 員 | 嘉 野 浩 市 |
| 執行役員常務 | 触 浩 浩 | 執 行 役 員 | 河 合 直 樹 |
| 執行役員常務 | 伊 達 洋 司 | 執 行 役 員 | 川 口 淑 規 |
| 執行役員上席 | 北 村 信 夫 | 執 行 役 員 | 後 藤 政 治 |
| 執行役員上席 | 中 村 由 春 | 執 行 役 員 | 吉 田 英 雄 |
| 執行役員上席 | 神 野 純 一 | 執 行 役 員 | 小 谷 野 俊 秀 |
| 執行役員 | 尾 辻 忠 忠 | 執 行 役 員 | 奥 田 靖 道 |
| 執行役員 | 佐々木 節 夫 | 執 行 役 員 | 稲 垣 正 祥 |
| 執行役員 | 灘 和 之 之 | 執 行 役 員 | 工 藤 宏 哉 |
| 執行役員 | 木 里 重 亮 | 執 行 役 員 | 佐 藤 隆 隆 |
| 執行役員 | 伊 藤 雅 章 | 執 行 役 員 | ロバート・ウィスラー |
| 執行役員 | 飯 田 真 幸 | | |

(注) 執行役員 鷹尾仁志は、本年10月15日付で退任いたしました。

株主メモ

- 事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
 - 株主確定の基準日 定時株主総会、期末配当 3月31日
中間配当 9月30日
 - 定時株主総会 6月
 - 公告方法 電子公告とし、当社ホームページ
(<http://www.kyocera.co.jp>) に掲載いたします。
ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告
ができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。
 - 上場証券取引所 東京、ニューヨーク
 - 単元株式数 100株
 - 株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関
- 郵便物送付先 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
- 各種お問い合わせ先 電話番号 0120-094-777 (通話料無料)
〔受付時間 9:00 ~ 17:00
(土、日、祝祭日、年末年始を除く)〕
ホームページ <http://www.tr.mufg.jp/daikou/>

株式に関するお手続きについて

1. 「住所変更」、「買取・買増請求」、「配当金の受取方法の指定」等の各種お手続きにつきましては、原則として、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)でのお手続きが必要です。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。
2. 「郵便物の発送と返戻に関するご照会」、「未受領の配当金に関するご照会」及び「特別口座に記録された株式に関する各種お手続き」につきましては、上記の三菱UFJ信託銀行株式会社にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行本支店でもお取次ぎいたします。



京セラ株式会社

京都市伏見区竹田鳥羽殿町6番地 〒612-8501
電話: 075-604-3500 (大代表)

<http://www.kyocera.co.jp>



見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォント
を採用しています。

